

# 令和4年度 自己評価結果報告書

学校名 成田市立公津の杜中学校

## 1 学校教育目標

未来を拓く心豊かでたくましい生徒の育成 ～自信をもって生活することを目指して～

- ①「公津の杜中でよかった」と心から言える生徒
- ②自ら粘り強く学習に取り組む生徒（知）
- ③気持ちのよい挨拶、返事、清掃、合唱を大切にできる生徒（徳）
- ④心身ともに健康で、自他を認め大切にできる生徒（体）

## 2 本年度の重点化された具体的な目標

経営の重点「ほめて伸ばす指導」

- 1 生徒のがんばり、地道な努力を見逃さず認めほめる
- 2 職員が情報を共有し、多くの職員で認めほめる
- 3 生徒の活躍の場を意図的に設定し認めほめる

## 3 自己評価結果

分野・領域	評価項目	評価の指標	取組状況	改善の方策
教育方針 教育課程	①学校経営方針に基づき、教職員の協力により円滑な学校運営がなされている。 ②子供は「公津の杜中でよかった」と感じていますか。	①教職員の肯定的評価 94.3% (3年度73.1%) ②保護者の肯定的評価 後期90% (3年度88%)	B	経営の重点である「認めほめて伸ばす」方針を一層推進する。特に、教職員間で情報を円滑に共有し、組織的に称賛できるような体制を強化する。
学習指導	①先生は学習で自分が努力したところを認めてくれる。 ②自ら進んで、粘り強く学習に取り組むことができている。	①生徒の肯定的評価 92% (3年度93%) ②保護者の肯定的評価 66.2% (3年度63.6%)	B	タブレットの効果的な活用。家庭学習充実のため毎日持ち帰り、自ら学習を進められるEライブラリーの活用を発信する。授業中、生徒の努力を認めほめるとともに活躍の場をつくるよう進めていく。
安全・安心な学校	①登下校指導を含め交通安全指導について努力している。 ②いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	①保護者の肯定的評価 91.2% (3年度92.1%) ②保護者の肯定的評価 74.6% (3年度71.6%)	B	登下校の交通安全を重要課題に位置づけ、安全教育を充実させる。また、いじめや暴力に対するアンケート、教育相談を大切に実施する。
生徒指導	①自分なりにがんばったことを先生が認めてくれうれしかったことがある ②問題行動が起きたとき、組織的に対応できる体制が整っている。	①生徒の肯定的評価 88.6% (3年度87.6%) ②教職員の肯定的評価 88.6% (3年度92.1%)	B	認めほめる意識は向上している。今年度実施した不安解消プログラム「勇者の旅」(年10回の授業)の検証と質の向上に取り組む。
特別支援教育	特別支援教育の理念を踏まえ、障がい等の特性をよく理解して個々の教育的ニーズに応じた教育活動を行っている。	教職員の肯定的評価 88.2% (3年度94.8%)	B	特別支援学級と交流の場を大切にしながらインクルーシブ教育の充実を図る。具体的には授業以外で特別支援学級及び通常の学級の生徒が交流し相互に学びとなる場を目指す。併せて教職員の学びの場を作る。
家庭・地域との連携	①子供のことで気になることがあったとき、学校に相談しやすいと感じる。 ②各種便りや学校HP等で学校の様子や進路情報などの必要な情報を得られる。	①保護者の肯定的評価 74.6% (3年度74.9%) ②保護者の肯定的評価 83.4% (3年度83.6%)	B	相談体制を一層充実させるとともに、保護者のニーズを意識した情報発信に努める。学校だよりは月2回を目安に発信する。

## 4 自己評価の結果の分析

生徒アンケートでは、概ね高い評価を得ている。タブレットを活用した授業改善と双方向のやり取りができ、認めほめる機会が増えたからと考える。

保護者アンケートでは、「学習指導」「いじめのない学校づくり」「相談しやすさ」の評価が他と比べて低い。「学習指導」においては、これまでどおり学校と家庭でやり取りをしている「学習のあゆみ『軌跡』」を媒介として、保護者の励ましを通じた連携を大切にしていく。「いじめのない学校づくり」で肯定的評価が微増しているのは、いじめアンケートを年6回から8回に増やしたことで早期対応につながったと考える。また、今年度から千葉大と連携し、不安解消プログラムを取り入れ年10回の授業を実施したことが効果的であったと考える。「相談しやすさ」では、情報発信を一層充実させていくことに重点を置いていく。生徒・保護者が必要とする情報をタイムリーに発信していく。